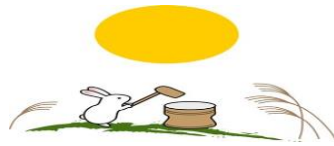


図書館だより



武雄高等学校 図書指導部

令和元年 9月 19日 発行

みなさんは、夏休み中に読書はできましたか？なかなかできなかったという人は、2学期からぜひたくさん本を読んでみてください！夏休み中にもたくさんの新刊が入って来ましたので、ぜひ図書館まで来て下さい♪



第161回 芥川賞・直木賞発表！！



7月17日に、第161回芥川賞・直木賞の受賞作品が発表されました！芥川賞には今村夏子さんの『むらさきのスカートの女』が、直木賞には大島真寿美さんの『渦～妹背山婦女庭訓魂結び～』が、それぞれ選ばれました。これらの作品は図書館にもありますので、ぜひ借りて読んでみてください^^

《芥川賞受賞作品》

『むらさきのスカートの女』

今村 夏子【著】 (朝日新聞出版)



近所に住む「むらさきのスカートの女」と呼ばれる女性のことが、気になって仕方がない”わたし”は、彼女と「ともだち」になるために、自分と同じ職場で彼女が働きだすよう誘導する。

《直木賞受賞作品》

『渦～妹背山婦女庭訓魂結び～』

大島 真寿美【著】 (文藝春秋)



江戸時代、芝居小屋が立ち並ぶ大坂・道頓堀。
大坂の儒学者・穂積以貫の次男として生まれた成章（のちに近松半二）。
末楽しみな賢い子供だったが、浄瑠璃好きの父に手をひかれて、芝居小屋に通い出してから、浄瑠璃の魅力に取り付かれる。
近松門左衛門の硯を父からもらって、物書きの道へ進むことに。
弟弟子に先を越され、人形遣いからは何度も書き直しをさせられ、それでも書かずにはいられなかった半二。
著者の長年のテーマ「物語はどこから生まれてくるのか」が、義太夫の如き「語り」によって、見事に結晶した長編小説。

芥川賞と直木賞はどう違うの??

芥川賞…文藝春秋の創業者・菊池寛（1888～1948年。代表作に『恩讐の彼方に』）が、友人である芥川龍之介（1892～1927年。代表作に『羅生門』『鼻』）の名を記念し、1935年に制定。雑誌（同人雑誌を含む）に発表された、新進作家による純文学の中・短編作品から選ばれる。

直木賞…文藝春秋の創業者・菊池寛が、友人である直木三十五（1891～1934年。代表作に『南国太平記』）の名を記念し、1935年に制定。新進・中堅作家によるエンターテインメント作品の単行本（長編小説もしくは短編集）から選ばれる。

◇新任の先生方のおすすめの本紹介◇

①白濱 脩太郎先生（物理）

『古典力学の形成～ニュートンからラグランジュへ～』

山本 義隆【著】（日本評論社）



<おすすめポイント>

この本は、私が物理をもっと学ぶために購入しました。教科書で公式の導出などの話はあれど、その考えに至った背景や歴史をもっと学びたいと思って探した本です。難しい本であり、今読むには知識も時間も足りないと思いますが、物理を深めたいという方はぜひ時間ができたときにでも読んでいただけたらと思います紹介させていただきます。

②小野 茂先生（化学）

『永遠のゼロ』

百田 尚樹【著】（太田出版）



<おすすめポイント>

読んだら、「自分をもっとやらないかん。」と思える。

お願い

2学期になりました。1・2年生の図書委員は、学級文庫の入れ替えをお願いします。また、カウンター当番（毎週木曜）もよろしくお願いします。